

船橋市立薬円台南小学校

第1回 学校運営協議会

令和6年5月17日 / 10時30分～12時10分 / PC室

参加者

【委員】新田一郎、吉田壽一、櫻井良男、山内紀子、林田三紀、内藤知恵子、満田睦

【オブザーバー】清水匡(前PTA会長)

【事務局】小倉隆志、伊藤嶺

【傍聴者】1名

議題

1. 委嘱状交付

2. 委員自己紹介

委員：本校校長。船橋市内出身。趣味はサーフィン。

委員：本校PTA会長。関西から千葉に来て2年。地域のことは分からないが違った意見として聞いてもらえたら。

委員：にじいろ保育園園長。23年間幼稚園教諭として勤務。にじいろ保育園勤務は8年目。地域活動を取り入れていきたい。色々な大人、子どもとの関わりを持ちたい。

Ob：本校前PTA会長。Ob(オブザーバー)として参加。色々な話を皆さんと出来たら。

委員：本校元PTA会長、三田中学校前PTA会長。現在も三田中のバックアップとして活動している。長崎出身で千葉に来て15年。本校の地域Co(コーディネーター)を兼務。

委員：魚沼市出身。小学校時代、今でいう発達障害の同級生を6年間世話していた。SG(スクールガード)6年。子どもたちに寄り添っていきたい。

委員：元評議員。二宮中市民の会会長。町会関係に30年以上関わっている。市連協副会長、三田習地区連会長。教育実習生の40%が教員になりたくないという事実は問題。地域との協力体制の構築が必要。学校を支えていきたい。

委員：80歳。夷隅出身。40年ほど前に船橋へ。会社を退職後、町会役員を始めた。自治会の上部団体にも所属。

事務局：たきのい幼稚園、渡辺園長は本日欠席。

3. 船橋市学校運営協議会規則・要綱について

事務局：守秘義務の厳守。原則、公開。必要に応じて非公開とすることができる。

学校の基本方針の説明と承認を行う。運営協議会の内容は報告義務がある。

4. 会長・副会長選出

事務局：会長について自薦、他薦問わずどなたか。

林田委員が挙手。参加者全員の同意により決定。

会長：副会長は自治会、学校、PTAをつなぐ、という点で内藤さんをお願いしたい。

参加者全員の同意により決定。

5. 学校運営基本方針の説明・協議

会長：学校運営基本方針について校長より説明をお願いしたい。

校長：学校教育目標は「心豊かに明るくたくましく生き抜く児童」の育成。学校生活の中で困ったときにどうするか、立ち返るのが学校教育目標。

【目指す子ども像】

知識：自分の考えを表現できること。

道徳：思いやりを持つ。

体育：生涯体育。子どもたちにも体を動かす事に出会ってほしい。

【目指す教職員像】

・学び続ける教職員。常に新しい情報を入れること。

・子どもに寄り添う。

・信頼される教職員。

・子どもの心に火をつけられる教職員が非常に多いと自信を持って言える。

【具体的な取り組み】

・ユニバーサルデザイン。

・「笑顔」「感謝」「協力」という合言葉。子どもたちに浸透している。

・多様性という部分、特別支援学級も開設された。

・いじめが0は難しい。子どもにトラブルはある。危機管理意識を持つこと。

・SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)、SSS(スクールサポートスタッフ)など多様な職種の人材が配置されている。今年度不登校支援センターの開設し、SA(スクールアシスタント)が新たに配置された。

・「ふるさと船橋」

「開かれた学校」「地域とともにある学校」皆様のお力添えを。中学校生徒会長等、もっと色々な年齢層の方々の参画をこれから検討していきたい。

会長：質問等あれば。

(特になし)

6. 学校の現状と地域学校協働活動についての説明・協議

会長：学校の現状と地域学校協働活動について事務局より説明をお願いしたい。

事務局：

【現状について】

- ・自閉症、情緒障害特別支援学級の開設。心のバリアフリー教育指定校。ボッチャ体験、読み聞かせ等、薬園台高校との連携。
- ・校内支援センターの開設。
- ・SA、SSS、SC、SSW、算数専科等、様々な職員の配置・活用。一部学年で教科担任制の実施。
- ・低学年サポート体制の構築。学校全体でサポートする。
- ・学校評価は例年 12 月に行っているが、教職員の中間評価を9月に行い、年度途中から改善を図る。
- ・働き方改革という点で、留守番電話設定時間の変更。教職員の時間外勤務時間は月 45 時間以下を目指す。
- ・運動会、コロナ後初の応援団。是非ご覧いただきたい。保護者より「組体操、騎馬戦については承諾書を取るべきではないか」との問い合わせあり。この件は学校評価を通して検討する。
- ・今年度はにじ色音楽会実施の予定。昨年度から音楽専科の休みが続いている。今年度は年度当初から 2 人配置いただいたため、子供たちの学習は進めることができている。
- ・1000 カ所ミニ集会は参加者が少ないため、協力を願いたい。
- ・地域学校協働活動について、中学生ボランティアの活用。教職員から声も上がっている。実現できること、こうすれば実現できるのでは、皆様からアイデアをいただきたい。

【協働活動について】

- ・コミュニティ・スクールにおける学校地域協働活動を進めるうえで、職員に地域に手伝ってほしいことについて、アンケートをとったので紹介したい。(別紙参照)
- 今後進めていけるものがあれば、ぜひ協力願いたい。また、学校が地域にできることについても、今後お声かけいただきたい。

【協議】

- Ob: 水泳指導の見守りについて。授業中は先生方が指導に当たると思うが、夏休みのプール開放においては、管理が徹底されていないように見受けられた。子どもが 1 年生の時おぼれかけ、それ以来プールを嫌がるようになった。
- 校長: 市内においても、プールの授業を外部に委託する学校が出てきている。6 月は寒く、7 月は熱中症アラート発令によりなかなか実施できない現状がある。プール清掃の問題もあるため、プールについてはアプローチの仕方が変わっていく可能性がある。
- 会長: コロナ禍以前、夏休みのプール開放は、大学生アルバイトなどが監視員となっていたように記憶している。
- 校長: コロナ禍以降、夏休みのプール開放は行われていない。夏休み期間中、プールを維持・管理していく予算の問題もあるのでは。

副会長: 教室のカーテンの洗濯について。PTA で検討しようと思っていたが、教育委員会の通達により、PTA では実施できないように感じている。PTA ではできないが、協働活動であればできるのか。

会長： 学校の維持管理に係る経費は、原則学校が負担するもので、活動そのものを禁止されているのではないのでは。

副会長： 予算の絡み。PTA が経費を負担するのが問題、というところから端を発していると思う。協働活動でやるのと PTA がやるのと何が違うのか。

会長： 学校の予算では支出できないものや、納品に時間が掛かるという現状があり、子どもに関わる教育予算として、三田中は PTA から学校へ需用費として 40～50 万円出している。助成金として渡すのは、地方交付税法に違反するとのこと。松戸市長に予算の要望書を毎年出しているが実現しない。

副会長： 協働活動にかかる経費は参加団体が出すのか。

会長： 参加団体が出す。

支援本部の時は学校に予算がついていたが、今年度から無くなった。消耗品は支給される。年に 5 回しか購入できない。納品は 2 か月後。

委員： 負担先はどこか。

会長： 負担は教育委員会。現状では、現金(立て替え)で購入することができない。

以前、PTA で行ったカーテンの業者委託は 25～26 万円。カーテンは一見すると綺麗に見えるが、実際にはかなり汚れている。花粉症等への影響もあるため、可能であればクリーニング(洗濯)を行いたい。協働活動にあたり、中学生の派遣も可能なのでカーテンの取り外し、取り付け、エアコンの清掃等はできる。

副会長： 何をするにしても経費が掛かる。PTA として関わりたいものの、できない。何ができて、何ができないのか。粹踏みが見えない。

会長： PTA の予算を学校の管理に使うことは NG とされている。

Ob： 実際に何ができるのか、確認した方が良いのでは。

副会長： PTA として何ができるのか、疑問がある。

会長： PTA も巻き込み「みんなの声を聞かせて」というのが協働活動。
予算については市と協議していく。

7. 地域の願いや活動について

会長： 三田中の学校運営協議会委員に近隣校の地域 Co が集まっている。4 校又は 6 校で動いても良いのではという話もある。地域の店舗・企業をどうしたら巻き込めるか。

自治会としても要望があるのでは。そういう声も聞きたい。学校のことだけではなく、地域の願いについても話し合っていきたい。

8. 連絡

a. 今後の予定

b. 主な行事予定

c. CS 通信の発行

次回の運営協議会

- 第2回 11月16日(土)9:00～
 - 土曜参観
 - 課題共有と地域連携について
- 第3回 3月4日(火)10:30～
 - 6年生を送る会参観
 - 学校関係者評価及び次年度に向けた協議